

座・ガモールファーム 通信

Vol. 14 | 2024.02.01



にっぽんの宝物グランプリ オンライン大会 2023-2024 東京としま部門 審査員特別賞

「にっぽんの宝物」でキャンパス農園班がJAPANグランプリに出場します。

審査員特別賞受賞

暦の上では春となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

にっぽんの宝物グランプリ、オンライン大会2023-2024東京としま部門でキャンパス農園班が審査員特別賞を受賞、JAPANグランプリに出場することが決定しました。

にっぽんの宝物グランプリとは、地方に眠る宝物・宝人を全国レベル・世界レベルで活躍できる人材と商品に育てるというプロジ

ェクトです。

キャンパス農園班では、「現代人に土を識る機会を」というテーマで歴史と最先端技術の両面から活動紹介をしました。

大正大学南門の前を通る道は旧中山道でありかつては種問屋が立ち並んでいましたが現在はあまり知られていません。一方、大学という研究機関で行う農業としてIoT等を使用した最先端の農業技術を使用したものも行っていま

私たちはそれらを組み合わせ、学生・地域の人を巻き込んで現代人に土を識る機会を作る活動をしています。

JAPANグランプリは2月に開催予定ですのでぜひ応援ください。(小池)



◀東京としま部門
(YouTube)



今月の活動

キャンパス農園班

お疲れ様です、キャンパス農園班の藤原です。1月も早いものでもう2月ですね。

1月に「にっぽんの宝物」という大会に参加しました！また、東京としま部門で入賞することができジャパン大会への出場が決まりました！これまで、こういった大会に出るということはあまりなかったので非常に嬉しいです！この大会は一般企業向けの面が大きいので自分たちのような大学生が出るとどうなるのか、出るとしてもどういった内容で出場するのかという面や、班員みんなとも意思疎通、同じ方向を見るという面で悩みました。しかし、しっかりみんなで話し合った末、参加メンバーが頑張ってくれ素晴らしいプレゼンになりました！ジャパン大会に向けて班員みんなとしっかり意思疎通を図り他の参加者にも負けたくないプレゼンを行いたいと思います！

さて、1月で学校は終わってしまいますが私たちの活動は続きます！現段階で考えてる企画は現在栽培している野菜の活用（料理など）、埼玉校舎で養蜂したハチミツの活用を考えています！今年は料理などの活動があまりできていないのでそこに力を入れていきたいと思います！また、現在栽培している伝統野菜もたくさんあるので、それらを料理して、しっかり活用方法があることをこの活動を応援して下さる皆様にお届けしたいと思います！こういった事も伝統野菜を栽培する自分たちが全うするべき役割だと思います！

今学期も残り少ないですがこの活動をもっと多くの人に知ってもらえるように頑張ります！（藤原）



収穫した大蔵（おおくら）大根

座・ガモールファーム



アクアポニックスで育つ辛味大根

2月になりガモールファームは一番落ち着いた時期になりました。プランターではのらぼう菜やスナップエンドウ、玉ねぎといった野菜が育っているので、春の収穫が待ち遠しいですね。一見するとこの時期は端境期のようにも感じられますが、7号館のテラスではふきのとうが顔を出す時期です。テラスの奥側は日陰になっているのですが、山菜なら元気に育ちます。ガモールファームではふきを始めとして、アシタバやヨモギなどといった山菜も栽培しており、都会にいながら山に住んでいるような季節感を味わうこともできるのです。

また一方で、アクアポニックスやハイポニカキットを使った水耕栽培による栽培も進んでいます。水耕栽培では12月から育苗を始めたミニトマトの苗に花が咲き始めました。室内のため季節に関わらず栽培が行えます。アクアポニックスは聞き馴染みのない言葉かもしれませんが、魚を飼育している水槽の上に野菜の栽培槽を設置して水を循環させることによって野菜を育てるといった新しい水耕栽培の形です。株の大きな野菜は育てられませんが、最近では薬味として使用する辛味大根が収穫できました。このようにガモールファームは都市農業の実践研究をテーマに様々な栽培方法を行っていますので、学内に設備を見つけたらぜひ観察してみてください。（山本）

詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見るができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、X（旧Twitter）ではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

